



新潟大学の学生が飯豊山系砂防事務所管内を見学

令和7年9月30日(火)、新潟大学農学部が、管内流域(加治川、荒川)での現地見学を実施しました。令和4年8月の大雨の際土石流を捕捉した下鍬江沢砂防堰堤群や、流木対策を含めた改築工事を進めている下土沢砂防堰堤など、砂防施設の効果やこれからの砂防に関する取り組みを見ていただきました。



はじめに、令和4年8月の大雨の概要や被災状況について説明し、土石流を捕捉した砂防堰堤の効果事例について理解を深めていただきました。

下土沢砂防堰堤



崩壊箇所や土砂・流木捕捉箇所について見学を行い、対策工法について確認しました。改築工事での堰堤設計の考え方等について質問がありました。

下鍬江沢砂防堰堤群



下鍬江沢砂防堰堤群では土砂堆積箇所(砂防堰堤の堆砂敷)で見学を行いました。堆積した土砂の取り扱いについての質問がありました。

横山沢上流砂防堰堤



今年の4月に完成した横山沢上流砂防堰堤で見学を行いました。砂防堰堤の間近での見学も実施しました。